

教科名	数 学	週時間数	3	学年	2
使用教科書 及び 副教材等	・「数学2」(啓林館) ・「数学の学習ノート」(正進社) ・「確認から発展へ」(学宝社)				

指導の重点	「思考力」 「知識技能」 「表現力」		
教科のねらい	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して数学的な資質・能力を育成することを目指します。(事象の数学化、数学的解釈、数学的な表現・処理) (論理的に考察する力、考察する力、簡潔・明瞭、的確に表現する力を養う)		
授業の進め方	授業は、教科書の内容を中心に進めます。 今年度は2人で授業を進めていきます。 途中の式や考え方・理由などを説明する場を設け、表現力を培います。		
定期テスト	出題方針	教科書の内容に準じて、基本的な数学力を問う問題を出題します。また、応用問題の出題により、数学的な見方や考え方の習熟度を計ります。	
	範 囲 (予定)	1学期中間テスト	式の計算、連立方程式
		1学期期末テスト	連立方程式、一次関数
		夏休み明けテスト	1学期分の範囲
		2学期中間テスト	一次関数、図形の調べ方
		2学期期末テスト	図形の調べ方、図形の性質と証明
		冬休み明けテスト	2学期分の範囲
学年末テスト	図形の性質と証明、場合の数と確率、箱ひげ図とデータの活用		
評 価 方 法	・主体的に学習に取り組む態度	・授業の様子 ・ワークの取り組み方 ・単元レポート	
	・知識・技能	・定期テスト、単元テスト、授業の様子	
	・思考・判断・表現	・定期テスト、単元テスト、授業の様子	
学 習 方 法 (先生からの アドバイス等)	数学は積み上げの教科と言われます。(教科性)わからないままにして次の授業を迎えてしまうと、前回の知識や計算方法を使って新しい課題に取り組むため、またわからないが続いてしまいます。1回1回の授業を大切にして、わからない、できないを少なくする努力をしましょう。また、定着するまで、ある程度の量をこなうことも大切です。教科書の問題や、ワークを中心に演習を繰り返しましょう。 導く答えは1つですが、導き方は様々です。数学を通して、仲間と協力し様々な考え方に触れ、豊かな人になってもらいたいです。個人で考えることももちろん大切ですが、自分の考えを共有(シェア)すること、仲間とともに答えを導くことを大切にしましょう。		

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント	
1	4	1. 式の計算	・式の加法・減法	3	同類項をまとめる	
			・いろいろな多項式	2	分配法則を用いてかっこを外す	
			・単項式の乗法・除法	2	文字式の計算と同じように計算をする	
	5		・文字式の利用	3	文字式を用いて説明できるようにする。 文字式の有用性を感じることができる。	
			2. 連立方程式	・連立方程式とその解	2	二元一次方程式の解の意味を理解する。
				・連立方程式の解き方	5	加減法・代入法の解き方を理解する。
	・連立方程式の利用	4		連立方程式を利用して、いろいろな問題を解く。また解を吟味し問題にあっているかどうか確認する。		
	7	3. 一次関数	・一次関数	2	表や式、グラフを通し一次関数の変化の様子を調べる。	
			・一次関数の値の変化	2	一次関数の変化の割合を理解する。	
			・一次関数のグラフ	4	一次関数のグラフについて考察する。	
・一次関数の式を求めること			3	(傾きと切片)(傾きと1点)(2点)の3つ方法で式をもとめることができる。		
・方程式とグラフ			2	一次関数と同様なグラフになることを理解する。		
・連立方程式とグラフ			1	グラフ上の交点を連立方程式を使って求めることができる。		
・一次関数の利用			4	式やグラフを活用し、よりよい判断ができるようにする。		
2	9	4. 図形の調べ方	・角と平行線	3	同位角や錯角について理解できる。	
			・多角形の角	4	多角形の内角の和について理解できる。	
	・三角形の合同		3	仮定から結論を導きだす証明を丁寧にまとめることができる。		
	10		証明とそのしくみ	2	平行線の性質や三角形の合同条件を用	
			11			

12	5・図形の性質と証明	・証明と進め方	2	い証明していく。 着目するところに注意して証明を進める。
		・二等辺三角形	5	二等辺三角形の性質を理解する。
		・直角三角形の合同	2	直角三角形の合同条件を理解する。 平行四辺形の性質を理解する。
		・平行四辺形の性質	2	平行四辺形になるための条件を理解する。 様々な四角形があり、それぞれの四角形を場合分けできるようにする。
		・平行四辺形になるための条件	3	
		・いろいろな四角形	2	
		・平行線と面積	2	形は違うが面積は同じ(等積変形)を有効に使えるようにする。
1		・四角形の性質の利用	1	仮定の条件を変えるとどうなるのかを考える
3	6. 場合の数と確率	・確率の求め方	2	場合の数をもとにして確率を求めることができる。
2		・いろいろな確率	4	『同様に確からしい』という考え方を理解する
3		・確率の利用	1	不確定な事象をとらえ、他者に説明し確率の意味や必要性を理解する。
3	7. 箱ひげ図とデータの活用	・箱ひげ図	4	ばらつきに着目し、最適解を選ぶことができる。
		・データを活用して、問題を解決しよう	2	1つの視点だけではなく、様々な視点から批判的に考察することができる。